

タスペーサー

平板スレート屋根再塗装時の縁切り部材

より良い通気性を確保するために…

タスペーサー「縁切り工法」をお試してください。

エスパッター



2回目以降の塗替えなどで、手差しでは挿入しにくい場合に威力を発揮！

タスペーサー
02



手差しでラクラク挿入！

タスペーサー
03



屋根の劣化が著しく進行している場合に！

タスペーサー02/03 常備色…黒・茶 ※03は黒のみ その他の色…受注生産

■タスペーサーはポリカーボネイト樹脂製です。

商標登録第4902163号 特許第3956012号



製造販売元
有限会社 **セイム**

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-1
TEL 0297-20-6222 FAX 0297-20-6223

カスタマーサービス **0120-603-565**

平板スレート屋根葺き工法と劣化現象



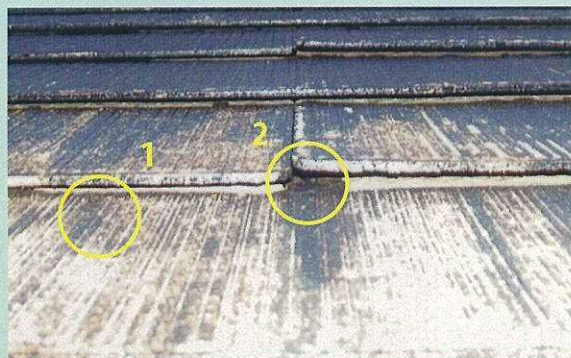
多く見られる 屋根材施工の 実態

屋根材を打ち付けた釘が
下地(コンパネ)野地板
を貫いて、家の天井裏に
突き抜けている。



下地材を貫いた釘。

室内天井裏から目視確認でき
る場合がある。



屋根材を 手入れもせずに放っておくと…

1. 屋根材の塗膜が劣化し防水性を失う。
- ▼
2. 屋根材の反り劣化現象につながる場合がある。
- ▼
3. 放っておくと破損の要因となる。

塗装時の「縁切り」が無い場合による不具合

● 数年前に塗装をした事例



工具で屋根材を少し持ち上げただけで、
中に溜まっていた水分が流れ出てきた。

● 2年前に塗装をした事例



雨上がりの翌日撮影。
下地が腐朽していた。

● 築年数19年の家 …塗装を2回行った



所々下地材が腐朽していた。
数年前から雨漏りが何度かあ
ったという。



この家は下地が完全に腐朽し、塗装によ
るリフォームができず、金属屋根にした。

● 構造材の腐朽



数年前から何度か雨漏りがあったとい
う。外壁ヒビ割れからの水分侵入もあ
り、構造材まで腐朽していた。

水分の侵入と排出のしくみ



毛細管現象で水平方向から水分が屋根材裏面に吸い込まれてしまうことがある。

突合わせ目地部から侵入する水分が多い。



もともとは、屋根材裏面に入った水分(雨水)は排出できるようになっている。

● 塗装前、雨上がり2時間後の様子

縁切りとは…？ それはなぜ必要か？



塗料で上下重なり部がふさがれてしまう。

もともとは、このように少しの隙間が確保されている。



上下重なり部が塗料でふさがってしまい、水分(雨水)の排出が悪くなる。

● 試験塗装の様子

従来の縁切り工法は…



塗装完了後の縁切りでは塗膜が剥がれてしまうことがある。



塗装完了後、翌日の縁切りでは再び上下が密着してしまうことがある。



塗装完了後3日後の縁切りでも、屋根材裏面奥に入り込んだ塗料が乾いていなかったために、従来の縁切り工法では困難だった。

従来の縁切り作業では…

1. 皮スキ、ケレン棒、カッター等での縁切り工法では屋根材コグチ部が破損することが多かった。
2. 適度な通気性確保の有無確認が難点だった。
3. 工事仕様(使用塗料・工法)によっては再び屋根材上下重なり部が密着してしまった。
4. 仕上げた屋根面にキズや足跡をつけてしまった。

タスペーサー縁切り工法

より良い通気性を確保するために
タスペーサー工法をお試しください。

1 高圧洗浄



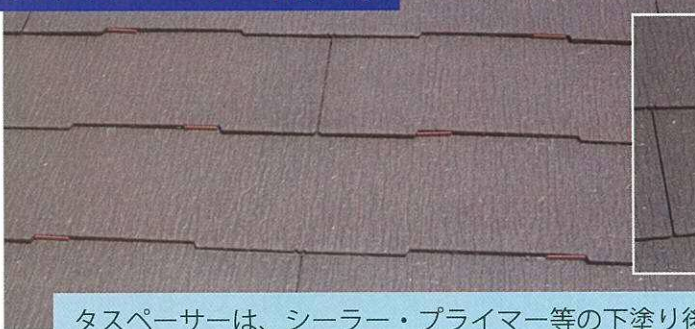
屋根の状態をよく観察し、丁寧に高圧洗浄を施す。

2 下塗り



乾燥後、シーラー・プライマー等の下塗りを施す。

3 タスペーサー挿入中



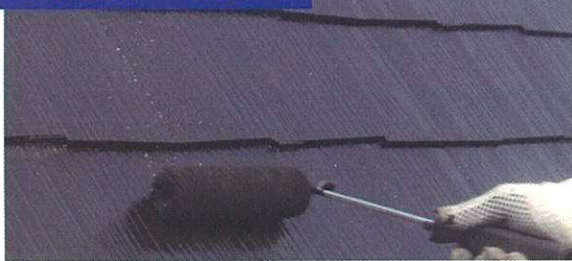
タスペーサーは、シーラー・プライマー等の下塗り後に、屋根材（約910mm）幅に対して左右15cm位のところに挿入してください。
※㎡あたり約10個使用します。

挿入作業

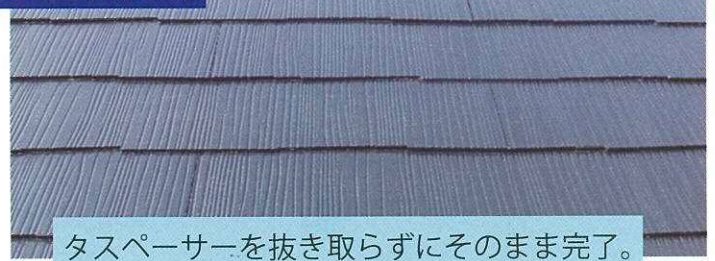


◆タスペーサーの挿入しにくい箇所や、前回の塗替えでの塗膜で、屋根材上下が密着している箇所は、スパッター（皮スキでも代用可）を使い隙間を開けてから挿入してください。

4 中塗り～上塗り



5 塗装完了



タスペーサーを抜き取らずにそのまま完了。

6 仕上がり



より通気性のある
屋根塗替えが可能に

適切に縁が切れ、水分（雨水）が溜まりにくくなる。通気性も適度に確保できる。

タスペーサーの安全性 タスペーサーを挿入した箇所の真上や周囲に、普通の作業性で、ある程度の加重がかかっても、屋根材が破損しにくいことがわかります。



ご注意

1. ご使用の際には、必ず取扱い注意事項をお読みになってから使用してください。
2. 必ず規定の塗付量と工程で作業してください。

塗膜がきちんと形成されていないと、部材と屋根材小口部の密着性が悪くなり、部材が抜け落ちる危険性があります。ご注意ください。